

<b>ペルメトリン水和剤</b> <b>アディオン水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ，サンケイ*，住友化学  <b>原体メーカー：</b> 住友化学
<b>成分：</b> ペルメトリン〔ピレスロイド系 PRTR・1種〕…20.0%	<b>性状：</b> 淡褐色水と性粉末63 $\mu$ m以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】 .....

- 接触毒作用により殺虫力を示し，ハマキムシやハモグリガ類などの食葉性害虫では摂食する前に，アブラムシ類などの吸汁性害虫では吸汁活動に移る前に効果を示す。
- ピレスロイドの特長である速効的ノックダウン作用を備えている。また優れた残効性を発揮する。
- 産卵抑制や寄生阻害などの特異な忌避作用が認められている。
- 殺虫スペクトラムが広いため，数種の害虫を同時防除可能である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 .....

- 残効性と忌避性を生かした，害虫発生初期の防除を行うと，より効果的である。
- 薬液のかかりにくい葉裏，下葉などにもムラなく散布する。
- 害虫の生態に合わせ，薬液が害虫に直接接触するように，巻葉前，食入前に散布する。

- 作物に対する薬害は，使用期間を問わず少なく，萌芽期や幼苗期などにも使用できる。

### 【薬効・薬害等の注意】 .....

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- ピレスロイド系薬剤の過度の連続使用はさけ，有機リン剤やカーバメート剤など，殺虫機構の異なる薬剤との体系防除を行う（抵抗性発達回避）。

### 【安全対策上の注意】 .....

- 共通注意事項7，ミツバチに対する注意事項を参照。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，使用時は注意。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ベルメトリンを含む 農薬の総使用回数
りんご	キンモンホソガ	2000～ 4000倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	2回以内	散布	4回以内 (散布は 2回以内、 噴射は 2回以内)
	アブラムシ類	2000～ 3000倍					
	シンクイムシ類	3000倍					
	ギンモンハモグリガ	3000倍					
ぶどう	ハマキムシ類 モモチョッキリゾウムシ フタテンヒメヨコバイ アメリカシロヒトリ	2000倍		7日前まで	5回以内		5回以内
	チャノキイロアザミウマ	2000～ 4000倍					
	コガネムシ類	2000～ 3000倍					
	モモハモグリガ	3000倍					
もも	シンクイムシ類	3000倍		6回以内	6回以内		
		2000～ 3000倍					
なし びわ	アブラムシ類	3000倍		前日まで 7日前まで	2回以内 3回以内		2回以内 3回以内
うめ	アブラムシ類 アカマダラケシキスイ	2000倍		前日まで	2回以内		2回以内
	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ						
かき	カキノヘタムシガ	3000倍		7日前まで	5回以内		5回以内
かりん	シンクイムシ類			3日前まで	3回以内		3回以内
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ カメムシ類 ハマキムシ類	2000倍	7日前まで	2回以内	2回以内		